



平和新聞 東京版

2022年10月15日 東京版第119号

1950年12月16日 第三種郵便物認可 (日本平和委員会)

東京版発行 東京平和委員会

〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館5階

電話03-5927-1485 Fax03-5927-1487

E-mail tokyoheiwaikai@peace-21.jp

なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2022年日本平和大会に参加しよう

11月26・27日に、オンラインで開催する日本平和大会が一カ月後に迫ってきました。

えの候補に圧勝しました。いま、市民の世論と運動が岸田政権を追いつめていきます。

討会議でも禁止条約締約国が核保有国を追いつめる状況が生まれました。ロシアによるウクライナ

大軍拡・改憲を推し進める岸田政権は、安倍元首相の「国葬」を強行しました。しかし、暮らしも、憲法も、民主主義も破壊し続けてきた元首相への弔意を強要する憲法違反の「国葬」に、反対世論は急速に広がり、

岸田政権は、年末までに「国家安全保障戦略」など軍拡三文書を改定し、「敵基地攻撃能力」保有や軍事費2倍化に道を開こうとしています。

これは、中国への軍事的包囲を強化し、アメリカと共に他国を先制攻撃・全面攻撃する軍事大国への道を突き進む、文字通り憲法9条を根本から破壊するものです。

安倍元首相をはじめとする自民党と反社会的集団「統一教会」との癒着の深さと、実態解明に背を向ける岸田政権への批判の声も急速に広がり、支持率は急落しています。

また、日本を戦争に導く危険を高め、国民に大幅増税と社会保障費などの大幅削減を強いることは必至です。この道をくい止めるために、平和大会学習パンフも大活用し、運動を強めましょう。

今年の平和大会開会集会では、海外の仲間や全国の基地強化反対運動と交流し、活動方向を提起します。国際シンポと分科会で学習と交流を深め、閉会集会では、日米軍事同盟の実態と平和の展望について正面から考えます。

9月の沖縄県知事選挙では、日米政府による辺野古新米軍基地建設の押しつけに断固反対し、「沖縄を戦場にするな」と訴える「オール沖縄」の玉城デニー知事が、基地推進自公政権丸抱

世界に目を向ければ、核兵器禁止条約への署名国は91カ国、批准国は68カ国に広がり、8月のNPT再検

パンフ学習を力に、全国津々浦々で大会の視聴会・視聴者の輪を大きく広げ、大会を大きく成功させましょう。

開催要項

◇開会集会 11月26日 (土) 10:00~12:00

*連帯あいさつ

・日米軍事同盟に反対する立場で活動する政党、力を合わせ知事選挙で歴史的勝利を勝ち取った沖縄県知事に要請

・憲法改悪・大軍拡・戦争する国づくり許さないゲストスピーチ

・海外からの連帯のあいさつ

・ロシアのウクライナ侵略反対、国連憲章守れ、軍事同盟強化反対、非核平和の世界を

▽ウクライナ平和主義運動 ユーレイ・シェリアゼン

▽NATOノー！(イギリス スクन्द) 要請中

▽韓国(SPARK)平和と統一を拓く人々

▽ベトナム平和委員会(ASEAN)の理念と努力も語る(要請中)

*文化行事 ウクライナ出身のオペラ歌手オクサーナ・ステパニウツクさんと三多摩合唱団

*沖縄施政権返還50年 沖縄・南西諸島からの報告

2つの特別企画でしっかり学習と交流

◇シンポ・分科会 11月26日(土) 13:30~16:30

*シンポジウム ロシアのウクライナ侵略と共に考える

・どうしたら核兵器も戦争のないアジアと日本をつくれるか

・いまアジアの平和をどうつくるか、各国代表と共に考えます

▽アメリカ(平和・軍縮・共通安全保障キャンペーン議長ジョセフ・ガーン)

▽ヨーロッパ(フィンランド平和ユニオン議長、元EU議員)

▽韓国(韓神大学統一平和政策研究院先任研究員イ・ジュンキュ)

▽オーストラリア(反基地キャンペーン連合ハンナ・ミドルトン)

▽日本(日本平和委員会・川田忠明常任理事)

▽コーディネーター(日本原水協・土田弥生国際部長)

*分科会 敵基地攻撃・大軍拡を許さない 学習と運動の交流

この秋、最大の焦点。学習し、各地・各分野の取り組みを交流します 特別報告||半田滋(要請中)

日米安保、これでいいのか。

正面から考えます。

◇ 閉会集会 11月27日

(日) 10:00~12:00

*大型トーク・日米軍事同盟発効70年特別企画

日本は日米軍事同盟の下で平和だったのか? どうすれば軍事同盟でない平和の道を拓くことができる?

▽パネリスト・ジャーナリスト・布施祐仁+憲法学者・清末愛砂+青年

*特別報告 基地周辺での有害化学物質PFOS流出被害とたたかう市民たち
改憲・軍拡・軍事同盟強化に反対し、平和な未来を拓く各分野のリレートーク

◇ 文化行事
・次回開催地のあいさつ
・行動提起と閉会あいさつ

★参加の仕方

オンライン会議アプリ「Zoom」を使用します。複数での視聴参加費は1件分です。
登録締め切り 11月18日(金)

参加登録費・開会集会、シンポ・分科会、閉会集会 1企画 1000円

1人で視聴の場合 開会集会、シンポ・分科会、閉会集会 1企画 一般500円

学生・被爆者・戦傷者・障害者350円

参加申込先 「平和大会東京実行委員会」メール

heiwataikai-tokyo@peace-21.jp

電子メールにてお申し込みください。「申込みフォーム」を返信します。

※東京平和委員会HP内の各種資料から「平和大会申込案内」がダウンロードできます。

連絡先・日本平和大会 東京実行委員会 TEL 03・5927・1486 (安保東京)

米軍空中給油機 横田に緊急着陸

琉球新報は、ウェブ版9月21日06:04配信で、「米軍嘉手納基地の第18航空団第909給油中隊所属のKC135空中給油機1機が10日、B1Bランサー戦略爆撃機と空中給油訓練中に事故を起こし、横田基地に緊急着陸していたことが分かった。」と報道しました。

東京・羽村平和委員会は、10日10時44分にワシントン州フェアチャイルド基地の大型空中給油機KC135T(AMC 60-0344)が着陸したことを確認しており、

「消防車が待機し、給油ノズルを点検していますので、おそらくこの空中給油機が事故を起こした機体ではないかと思われます」とコメントしています。

なお、琉球新報は記事の最後に「航空自衛隊によると9日、米軍との共同訓練を青森県西方の日本海上の空域で実施し、嘉手納基地のKC135空中給油機2機を含む21機の米軍機が参加した。事故機との関連性は分かっていない。」と報じています。(写真は羽村平和委員会撮影)



江戸川平和委員会

10月1日・2日に「第22回戦争展 in 江戸川」が開催されました。

両日で約900名余が訪問し、戦争の実相や被爆の実相、戦時中の暮らしなどの展示に見入りました。

展示には、被爆者の会や9条の会、新日本婦人の会など各参加団体の平和への取り組みが展示され、中央舞台では、「東京大空襲の証言」や「核兵器禁止条約」と世界情勢の講演、「平和を謳うプログラム」、ウクライナの方の歌、「平和の詩」の朗読、ウクライナ楽器「バンドウーラ」の演奏、移動演劇桜隊の「8・6」の演劇など多彩な催しものが披露され共感の輪が広がりました。

平和を守り、「戦争のできる国」を許さない思いを確認し合う「戦争展」となりました。

(東京革新懇ニュースより)



横田基地もいらない! 沖縄とともに声をあげよう市民交流集会

沖縄復帰50年
映画と講演のつどい さらに沖縄とともに
日時・10月22日 10:20~16:00
場所・福生市民会館 大ホール

JR青梅線「牛浜駅」から徒歩5分

Poster for the event '10.22 映画と講演のつどい' featuring speakers like 若きハルサー and 猿田佐世. It promotes a film and lecture about the environment and the Ukraine crisis.

日野平和委員会

日野でも、平和委員会デザインの前断幕を持って9・19大集会に参加し、渋谷ハチ公前交差点をパレードしました。すごく注目され、次々と集会参加者が写真を撮っていききました。25日、



編集後記

*前号7月号以来、3か月の発行となっていました。

*東京平和委員会から、8月に、会員3名の方々の平和への思いを綴った原稿をいただいておりますが、東京版発行が遅れたため、掲載を見送らざるを得ませんでした。深くお詫び申し上げます。

27日も、日野での共同街宣で使います。
報告・磯崎四郎